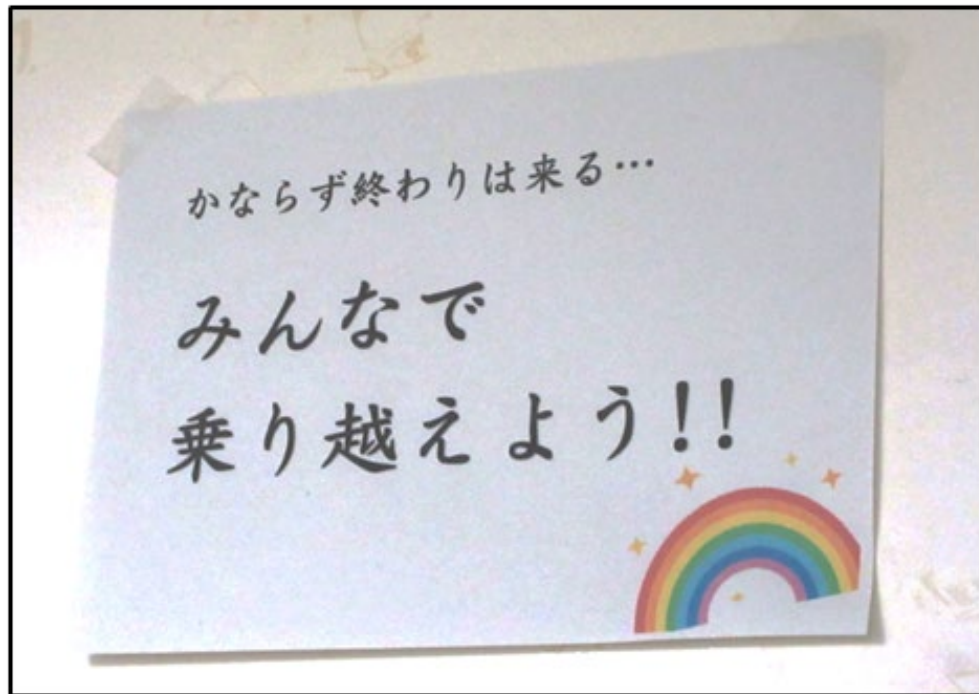


写真とともに振り返る 2021年のコロナ対応



国立大学病院看護部長会議

重症患者の受け入れ

高度急性期病院として、重症患者を受け入れ、治療にあたりました。
徹底した感染対策のもと、チームで協力して、迅速かつ適切に対応します。





旭川医科大学



大阪大学

重症患者への対応

人工呼吸器やECMO(体外式膜型人工肺)が装着されている患者さんへ腹臥位療法を行うため、褥瘡やライン類のトラブル対策などについて話し合いながら看護師・医師・臨床工学技士の多職種で安全に体位を換えます。



広島大学



千葉大学

回復過程を支援する

患者さんに寄り添い、看護の専門職としてケアを提供します。患者さんの回復は、何よりの喜びです。



安心安全な環境を整えるために

目に見えないウイルスから身を守るため、清掃や環境整備も大切な業務です。



地域への貢献

ワクチン大規模接種や、地域への教育活動、宿泊療養施設の立ち上げと運営に協力し、感染拡大地域への看護師派遣も行いました。

山梨大学(ワクチン接種会場)



山梨大学(医療強化型宿泊療養施設)



山口大学(感染症人材育成事業)



東北大学(抗体カクテル療法センター)



山形大学(ワクチン大規模接種)

明日に備え、経験を力に

安全安心な医療・看護の提供のため、訓練とシミュレーションを繰り返します。



仲間がいるから、仲間と共に・・・

国立大学病院看護部長会議

